

女學唱歌

前

教檢身六一號

教科書文庫  
4  
760  
52-1902  
0130449429

760 類  
283 號  
2089

30484

教科書文庫

34  
760  
52-1902  
01304  
49429

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

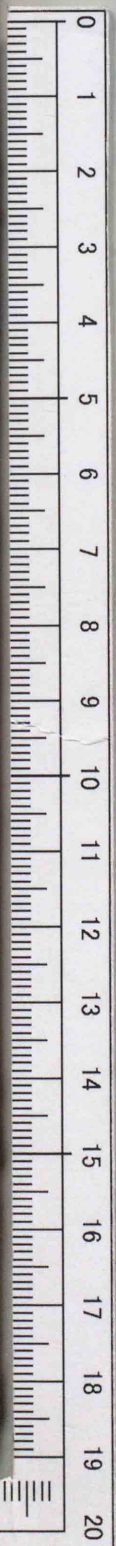
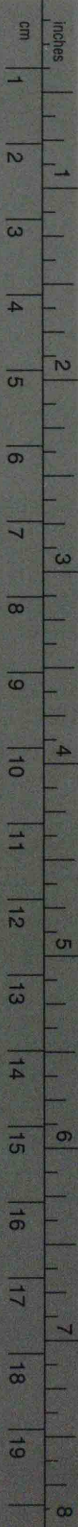


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

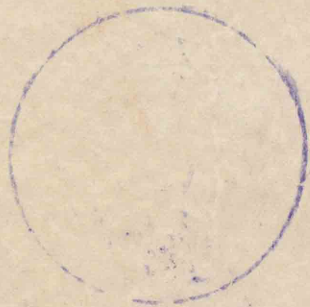
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫  
4  
760  
52-1902  
0130449429

中央図書館



広島大学図書  
0130449429  


日十月三年五十三治明

濟定檢省部文

廣島師範學校  
圖書部藏

合資  
會社  
共益商社書店藏版

# 女學唱歌 二

山田源一郎編

760  
289号  
2

廣島師範學校  
圖書部藏版  
307号

14306

広島大学図書

0130449429



女學唱歌第二集

目次

一 愛らしき花  
一 夜の歌  
一 閉校  
一 日出の富士  
一 夕の鐘  
一 春のゆふべ  
一 星の光  
一 おもだか  
一 やさしの山吹

一 漁父  
一 夏の野景  
一 ふるさと  
一 門邊の小川  
一 早秋夕  
一 成業別友  
一 秋のあはれ  
一 なき父母  
一 秋の夕暮

愛らしき花

Moderato.

Schaublin.

○愛らしき花

○愛らしき花

坂シヨイブリン 正臣 作曲

- 一、 友よぶ雲雀の、あがる野べに。
- 二、 ふく風涼しき、やまの蔭に。
- 三、 さきたる瞿麥、よそに見めや。
- 三、 春にも秋にも、花はあれど。
- あいらしなつかし、これぞ我は。

○目次

- 一 庭の菊
- 一 感懷
- 一 琴弾く媼
- 一 なき友
- 附 録
- 練 習 課
- 音 階
- 第 二 度 音 程
- 第 三 度 音 程
- 第 四 度 音 程
- 第 五 度 音 程

- 第 六 度 音 程
- 第 七 度 音 程
- 第 八 度 音 程
- 短 音 階
- 半 音 階
- 以 上

二

夜の歌

Andante,

Hauptmann,



一、 三、 三、

クモレ 三、  
レケノ  
エタミ  
クナ  
マのネ  
ドきム  
一、ニのル  
フをヨ  
ミギナ  
ヨサカ  
ミのノ  
ハソ  
トザラ  
ノ忍ニ



一、 三、

ミカホ  
ミラエ  
ニサコ  
ヅラマ  
スワマ  
メタサ  
ルルレ  
ミカホ  
ツゼシ  
ノノ  
ナヒ  
ガビカ  
レキリ



一、 三、

ミカホ  
ツゼシ  
ノノ  
ナヒ  
ガビカ  
レキリ

○夜の歌

三、	二、	一、	
物 <sup>もの</sup>	更 <sup>よ</sup>	暮 <sup>くれ</sup>	
さ	さ	耳 <sup>みみ</sup>	
え	ら	に	
こ	く	ぞ	
そ	る	澄 <sup>す</sup>	
ま	渡 <sup>わた</sup>	め	
さ	る、	る、	
れ、	る、	る、	
星 <sup>ほし</sup>	夜 <sup>よ</sup>	風 <sup>かぜ</sup>	
の	中 <sup>なか</sup>	の	
ひ	の	ひ	
か	空 <sup>そら</sup>	い	
かり。	に。	き。	

坂ハ  
ウプ  
正ト  
マン  
臣ン  
作作  
歌曲

閉 校

Weber.



二、

一、

○閉校

ふ 對 伴 わ 門 人 集 學 張 送  
み ひ ひ が の 影 ひ の り 送  
讀 て ひ が の 影 ひ の り 送  
む ま を 屋 の 戸 か て 門 門 弛 迎  
聲 な ら 歸 鎖 き 遊 の 弛 迎  
な び ん り し 絶 び の 弛 迎  
く し は て て え し 戸 て つ

静 室 樂 ち そ さ 園 今 業 時  
か の し へ で び の 日 を 坂  
な つ け に を し の は を ウ  
ら く れ は を 分 芝 閉 惜 正  
む る ど に ち む 生 ぬ し み 臣

ル作歌曲

日の出富士

Swoff.

一、二、三、  
 テはニ  
 メカラ  
 コのソ  
 チキホ  
 タウオ  
 クモフ  
 カルホ  
 フコニ  
 リのヒ  
 ギモサ  
 サクア

ニシヲ  
 キサル  
 ラにテ  
 クベタ  
 ダヒテ  
 マのミ  
 イハエ  
 ハのホ  
 ヨはホ

ニ  
 ノリ  
 トまヨ  
 ノまし  
 マのカ  
 アム  
 ラたト  
 ガがメ  
 ホサヒ  
 ラララ  
 カレク  
 ホナサ

ネサリ  
 ノカナ  
 ジだマ  
 フケウ  
 ルぬハ  
 カはシ  
 カろヘ  
 ケタ  
 アツタ

○日出の富士

旗野十一郎作曲

一、 狭霧ふかく、たちこめて。  
 ほがらほがら、天の戸の。  
 あけかゝる、富士の峰。

二、 雲の衣雪のかほ。  
 ほのぼのと、紅さし。

三、 朝日にほふ、大空に。  
 はゝるみて、立てるを。

「 櫻ひめと、上古より。  
 たゝへしは、うべなり。」

世はいまだ、暗きに。  
 つくろはぬ、氣高き。



夕の鐘

Andante.

Volkswaise.

mf  
トリノカケルカタメモテオクレバー

cresc. f dim.  
ケブリウスクタツヨチノヤマモトー  
cresc. f dim.

pp pp  
モノスゴノユフゲシキワレチラヌヒトモミム

mf cresc. dim.  
ツキハイツタダテクヌルカネノテラドリキ  
mf cresc. f dim.

あはれ傳へ來る、  
鐘のとゞろき。

月はいまだでぬ、  
峯の寺より。

ものすごの夕景色、  
我ならぬ人もみむ。

けぶり薄く立つ、  
をちの山もと。

鳥の翔るかた、  
目もて送れば。

○夕の鐘

坂正臣作歌

春のゆふべ

Allegretto.

Hetsch

一、二、三、  
 イカユ  
 ロサフ  
 モミヒ  
 フふイ  
 カカリ  
 キクテ  
 ハゆミ  
 ルクソ  
 ノテラ  
 ノをラ  
 スニツ  
 ミめツ  
 レてム

ツミク  
 ミチモ  
 テモノ  
 カマイ  
 ヘエロ  
 ルオモ  
 エヤナ  
 フまゴ  
 マもり  
 グナヲ  
 レシ

ハニコ  
 コイ  
 ノハハ  
 リチヘ  
 バハク  
 トコユ  
 フのノ  
 モはモ  
 オはト  
 ヲハシ  
 コタレ  
 ガレカ  
 ナワ

ナミカ  
 ホツヘ  
 モのル  
 ソニカ  
 ラネリ  
 ニモノ  
 キカミ  
 コサツ  
 ユカイ  
 ナニツ  
 リマツ

カはト  
 スなホ  
 ムのク  
 ソイチ  
 ラカ  
 ニムク  
 ノおコ  
 コボエ  
 ルハ  
 ナにシ  
 リてテ

○春のゆふべ

○春のゆふべ

大和田建樹作曲

一、色もふかき、春のすみれ。  
 わが子をおもふ、雲雀のこゑは。

二、かすみ深く、ゆくてをこめて、  
 なれ道の深み、く、ゆくてをこめて、  
 花の母の、家路はなご。

三、夕日入りて、みそらをつむ。  
 わかれ雲の、いろもなごりをし。

かへる雁の、ゆきえは、いづこ。  
 とほくちかく、五つは、いづこ。  
 声はして。

一〇

星の光

Andantino

Fisher,

Handwritten lyrics for the first system of the song, including the title '星の光' and the composer 'Fisher'. The lyrics are written in hiragana and katakana, with some characters underlined. The lyrics are: ユソク フカカス ゼヘス ニオム ヒマツ キヒラ サハハ カメナ レノホ チタニ

ユソク フカカス ゼヘス ニオム ヒマツ キヒラ サハハ カメナ

Handwritten lyrics for the second system of the song. The lyrics are: ギヘホ レにヒ チカマ ギギシ レテ ユウカ クでゲ クのウ モワツ ニにス ホタニ

レのホ チタニ ギヘホ レにヒ チカマ ギギシ レテ ユウカ クでゲ クのウ モワツ

Handwritten lyrics for the third system of the song. The lyrics are: シヤハ ノもフ ヒルク カシサ リゾノ キカツ ラガユ メヤニ クケマ ハるデ

ニにス ヒビク カカサ リリノ キカツ ラガユ メヤニ クケマ ハるデ

○星の光

一、ゆふ風に、ひき裂かれ。  
 ちぎれく、ゆく雲に。星の光、きらめくは。』  
 二、袖かへす、舞姫の。  
 妙にかざる、腕の環に。ダイヤモンドぞ、かゝやける。』  
 三、暗色すゝむ、空はなほ。  
 嘆氣まして、影うつす。庭の草の、露にまで。』

旗野十郎 作曲



やさしの山吹

Moderato. Volksweise.

mf dim. p dim. mf dim.

キロ カカ ツニ エー ンニ ホフ ハヤ サシノ スニ マガ アキ アレ

cresc. mf cresc. f mf

フク カゼ ニ ユ ラ レ テ ツ ユ ハ ミ ダ レ ヨ ス

p dim. p dim.

ル ナ ミ ニ カ ー ゲ サ ワ グ ス ナ ル ハ カ ー ハ ツ ノ コ エ

○やさしの山吹

三輪 義方 作歌

きよき水に、枝ひちて。 花さく、やまぶき、あれ。

色香ふかく、八重匂ふ。 やさしの、すがたや、あれ。

ふく風に、ゆられて、露はみだれ。

よする浪に、影さわぐ。

すめるは、かはすの聲。

漁 父

Allegro marcato.

Norwegische Melodie.

フキシキル オーホーカゼ クダケクル アラナミ

スサブトモ アルートモ コノマカダ ニギラバ

dolce.

サミト テーモ アヲタータミ

ウミト テモ アヲタータミ

海 <sup>み</sup>	こ	す	く	ふ	
と	の	さ	だ	き	○漁
て	眞 <sup>ま</sup>	ぶ	け	し	
も	楫 <sup>かぢ</sup>	と	く	き	父
		も	る	る	
青 <sup>あお</sup>	た	荒 <sup>あ</sup>	あ	お	
	に	る	ら	ほ	
	ぎ	と	浪 <sup>なみ</sup>	風 <sup>かぜ</sup>	
壘 <sup>たきみ</sup>	ら	も	。	。	
ば。					

武島又次郎作歌

夏の野景

Allegretto.

Greef.

二 目 二 名 ろし 八 げ れ き ね かね の 一 二

二 目 二 名 ろし 八 げ れ き ね かね の 一 二

二 目 二 名 ろし 八 げ れ き ね かね の 一 二

二 目 二 名 ろし 八 げ れ き ね かね の 一 二

夏の野景

夏の野景

一、みわたし遙げき、  
 日がげにいらます、  
 わけゆく小羊、  
 あさげのなごりの、  
 ひとむら繁れる、  
 芝生をむしると、  
 涼しの伴歌、  
 緑をそよ吹く、

旗野十一郎作曲  
 岡のみなみ。  
 夏のをぐさ。  
 五つ七つ。  
 露やあさる。  
 合歡のもとに。  
 つとふ少女。  
 三人四人。  
 風にもらす。

ふるさと

Moderato. Morarto.

ニクサレニマシレールはたシる  
ニクサレニマシレールはたシる

*Cresc. f.*

ヒメユリウツタナルムカシノ  
ヒメユリウツタナルムカシノ

*p*

アルジーハカヘラズトイモナキ  
アルジーハカヘラズトイモナキ

*p*

フルサトサカシネキノツレノ  
フルサトサカシネキノツレノ

*f* *dim.*

サカシネニキノナツレタ  
サカシネニキノナツレタ

〇ふるさと

一、	草葉にまじれる、	撫子ひめゆり。	大和建樹作曲
二、	うゑたる昔の、	あるじはかへらず。	
	友なきふるさと、	さびしき夏の野。	
	くるればきらめく、	ほたるび白露。	
	月なきこよひも、	光はかくれず。	
	いづこそ昔の、	垣根の呉竹。	



門邊の小川

Volksweis.

Moderato.

カオ ドモヘバ ナガレユク ヲガハヨシハヨシニ  
 ヲモヘバ ナガレユク ヲガハヨシハヨシニ  
 ター ユマズトドマ ラースト シートトモニ  
 スー スメルナガコ コーロタ フトシタフト シー

○門邊の小川

武島又次郎作歌

進 <small>すす</small> める	たゆまず止 <small>とど</small> まらず、	思 <small>おも</small> へば汝 <small>な</small> がすがた、	門 <small>かど</small> のべながれゆく、
汝 <small>な</small> が心 <small>こころ</small>	年 <small>とし</small>	いさまし、	小 <small>こ</small> 川 <small>がは</small> よ、
たふとし、	と、	いさまし。	小 <small>こ</small> 川 <small>がは</small> よ。
たふとし。』	とも		
	に。		

早 秋 夕

Andante.

ニツ キニ カカ グル トウ モカ シレ じう 二  
ニツ キニ カカ グル トウ モカ シレ じう 二

カハ ゲと モリ イツの シカに アサ キマ キヘ 二 二  
カハ ゲと モリ イツの シカに アサ キマ キヘ 二 二

エモ 子 び スー ズめ シニ ク フ クカ ぜ 二 二  
エモ 子 び スー ズめ シニ ク フ クカ ぜ 二 二

クカ サツ ハも がと クケ リ コミ 一 カシ 二 コ 二  
クカ サツ ハも がと クケ リ コミ 一 カシ 二 コ 二

ムは シノ の は 二 二  
ムは シノ の は 二 二

○早 秋 夕

二、	一、
か 結 ひ 月 草 ゆ 影 軒	の ふ も にか
つ び と の ひ の 葉 は 涼 い つ ぐ	ひ そ り ひ か り に
ひ も そ め 園 生 に	が く し く し か
と け り	れ、
は ぎ の は な 』	こ ー か し こ
を み な へ し	吹 く 風 に
ゆ ふ つ ゆ に	秋 め き て
さ ま よ へ ば	と も し び の
う か れ つ	
蟲 の 聲 』	

中 村 秋 香 作 歌

成業別友

Andante.

Silber.

Handwritten musical notation for the first system, including a treble and bass clef, a 3/4 time signature, and a key signature of two sharps (F# and C#). The melody is written on a single staff with lyrics underneath.

Handwritten musical notation for the second system, continuing the melody and lyrics from the first system.

Handwritten musical notation for the third system, continuing the melody and lyrics.

Handwritten musical notation for the fourth system, concluding the piece.

○成業別友

一、いく春この庭に摘みし。  
小草の花は、いまやにほふ。

ア、このにほひ、別れて後に。

二、君も吾も、眞實著し。  
いく秋この園に折りし。

桂の枝は、いまやかをる。

ア、このかをり、別れて後に。  
きみもわれも、まことしるし。』

旗野十一郎作曲

秋のあはれ

Andante,

Molto,

フハふや ケギけま ワハわか タラたげ ルノるの アフあふ キセきせ ノイのい ヨホよほ ニサみぎ ハラねら ニヌにぬ ナダだだ クニくに

ムムコシニ シノシかのミ ノミのみ フサ フリき ニシシ ヨシ シーのフニに

サカ ナシ サハニ ミニ シハ サカ ナシ サヨ

フセイイ ホは サカ ナシ ヤナ アキキ ノニ ヨ

○秋のあはれ

○秋のあはれ

一、 更け渡る秋の夜。庭に鳴く、蟲の音。  
 萩原の伏庵。さらぬだに、此の身は。  
 舊にし世、忍ぶに。淋さは、身に染む。  
 淋さよ、伏庵。淋やな、秋の夜。  
 二、 更け渡る、秋の夜。峰に鳴く、鹿の音。  
 山蔭の、伏庵。さらぬだに、此の身は。  
 過にし世、忍ぶに。悲さは、身に染む。  
 悲さよ、伏庵。悲やな、秋の夜。」

鳥マ

居ラ

沈ン  
 作  
 作  
 歌曲



秋の夕暮

Andante, Schaltische Melodie,

First system of musical notation for 'Autumn Twilight'. It consists of two staves in G major, 6/8 time. The melody is marked 'Andante' and 'Schaltische Melodie'. The lyrics are: 尾花が袖にも、露はおさぬ。

Second system of musical notation. The melody continues with dynamics 'dim.' and 'f'. The lyrics are: わが身のうへのみ、かくやと思ふに。

Third system of musical notation. The melody concludes with dynamics 'p' and 'pp'. The lyrics are: こゝろぞしぼる、秋のゆふ。

○秋の夕暮

尾花が袖にも、  
露はおさぬ。  
わが身のうへのみ、  
かくやと思ふに。  
こゝろぞしぼる、  
秋のゆふ。  
夕風かなしく、  
蟲もなきて。

武島反次郎作歌

○秋の夕ぐれ

三四



感 懐

Mendelssohn.

Moderato. *dim.*

二ムコ ラの サキは ノワ イロカ ナイトセ ラの 一ハ テド

ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ ママ

キラ ヨト ヨハメ ラハゲ ミ改 ツツ キキキ キキキ キキキ キキキ キキキ キキキ

*dim.*

イハ ヨカ イラ ヨんの キの ヨチ クに スし ミの フは ソる 一 マバ セキ

*rit.*

アハ ナを イの ミミシヤ ヤン 一 アハ ナを イの ミミシヤ ヤン

○感 懐

○感 懐

一、紫の深き、  
清原の水、  
いよ〜清く、

二、此世はわづか、  
いでわがとも、  
つとめ願みて、  
なからん後に、

千歳を経て。  
句ひをそへ。  
月日にそひ。  
澄みこそませ。  
あなのみじや。』  
五十歳のほど。』  
身のほど〜。  
いさを立て。  
忍ばるべき。  
名を残さん。』

メンデルソン作曲  
中村秋香



琴 弾 く 媼

Frohlich,

Moderato, *mf*

コト とき は クに オた ウち アも ハの スコ オは ウん ナと

*f*

かな シら コひ ニヤ コし コウ ノる な キか ニそ タの ナわ びぎ

*p* *cresc.*

や や ツ フギ クに カむ ぞろ カれ ヨほ スは ルに ナふ くれ カし

*f*

じむ クテ モー スー マー ヤー フイ シカ ヲナリ ケン

*f*

カか キた フれ ソー ナー ラー せな コあ トは シれ ナ

○ 琴 弾 く 媼

○ 琴 弾 く 媼

一、 琴<sup>こ</sup>ひくおうな、  
 かしこにこの、  
 松<sup>まつ</sup>吹く風<sup>かぜ</sup>か、  
 弾<sup>ひ</sup>く手<sup>て</sup>もすまに、  
 かきこならせ、  
 軒<sup>のき</sup>端<sup>は</sup>に立ちて、  
 習<sup>な</sup>ひやしつる、  
 柳<sup>やなぎ</sup>にむつれ、  
 昔<sup>むかし</sup>の春<sup>はる</sup>や、  
 かたれや媼<sup>おきな</sup>、

二、  
 あはすおうな。  
 軒<sup>のき</sup>にたちて。  
 よする波<sup>なみ</sup>か。  
 ふしをかしく。  
 琴<sup>こ</sup>のしらべ。』  
 もの乞<sup>こ</sup>はんと。  
 ながその業<sup>わざ</sup>。  
 花<sup>はな</sup>になれし。  
 いかなりけん。  
 あはれおうな。』

フ  
ロ  
ー  
リ  
ツ  
ヒ  
作  
曲  
中  
村  
秋  
香  
作  
歌  
曲

な き 友

Andante,

Spohr,

ニ ト モ ニ ミ ツ ル ハ ル ニ ハ ナ ハ コ  
ニ ト モ ニ ミ ツ ル ハ ル ニ ハ ナ ハ コ

ゾ ノ イ ロ リ セ キ ニ ホ カ リ シ  
ゾ ノ イ ロ リ セ キ ニ ホ カ リ シ

モ ニ ミ シ ツ キ ソ ト モ ニ ミ シ ツ キ  
ト モ ニ ミ シ ツ キ ソ ト モ ニ ミ シ ツ キ

(な き 友 つ い き)

○ な き 友

ゾ ノ マ マ ニ コ ゴ ノ マ マ ニ カ ス ム モ ニ ヲ カ  
ゾ ノ マ マ ニ コ ゴ ノ マ マ ニ カ ス ム モ ニ ヲ カ

ハ レ ソ ノ ヲ ト モ キ ヲ カ  
ハ レ ソ ノ ヲ ト モ キ ヲ カ

ゲ ソ ミ エ ヌ カ ナ ゴ ミ エ ニ ア  
ゲ ソ ミ エ ヌ カ ナ ゴ ミ エ ニ ア

ハ レ ソ ノ ヲ ト モ キ ヲ カ ア ア  
ハ レ ソ ノ ヲ ト モ キ ヲ カ ア ア

附 録 練 習 課

○なき友

○なき友

中ス  
村ボ  
秋1  
香ア  
作曲  
歌曲

四四

一、  
 ともに見つる、春の花は。  
 去年のいろに、咲き匂へり。  
 ともに見し月も、去年のまゝに、  
 霞むものを。あはれその、よの友の。  
 影ぞ見へぬ、かげぞ見えぬ。  
 あはれその、世の友の。ア、』  
 月をめで、ともにうたひ。  
 花を折りて、ともにかざし。  
 千代もかくしつゝ、経ばやとこそ、  
 契りにしか。あはれその友垣よ。  
 月はかすみ、花は咲けど。  
 あはれその、ともがさよ。ア、』

二、

音階

1

ハ1 ア    ニ2 ア    ホ3 ア    ヘ4 ア    ト5 ア    イ6 ア    ロ7 ア    ハ1 ア

ハ1 ア    ロ7 ア    イ6 ア    ト5 ア    ヘ4 ア    ホ3 ア    ニ2 ア    ハ1 ア

2

アエ アエ アエ アエ アエ アエ アエ アエ

アエ アエ アエ アエ アエ アエ アエ アエ

3

アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ

アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ アエイ

4

アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ

四七

音階つゞき

アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ

アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ

アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ    アエイ ホ

アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ

アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ

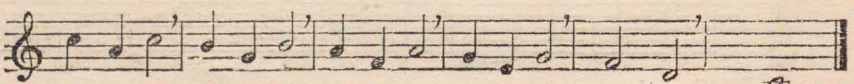
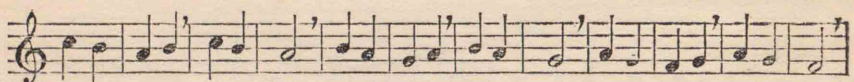
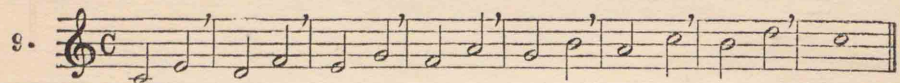
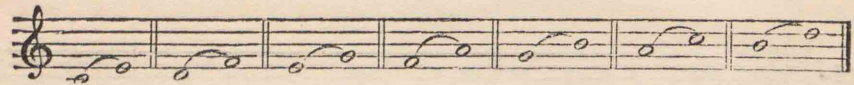
アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ

アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ    アエイホウ

四八

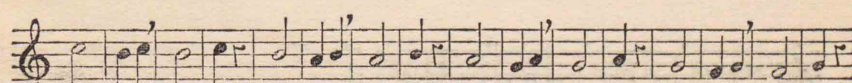
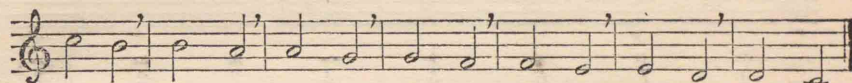
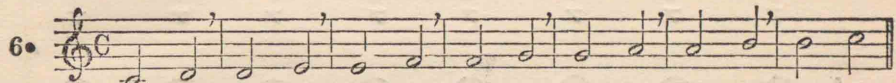
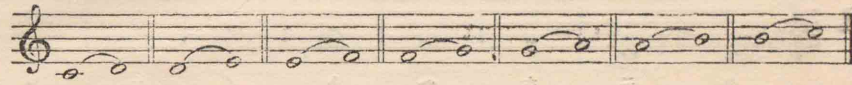
第三度音程

短 短 長 長 短 短 長



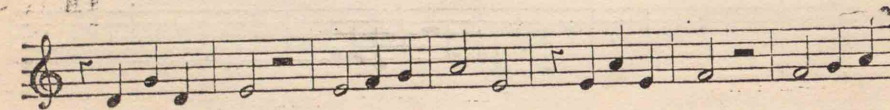
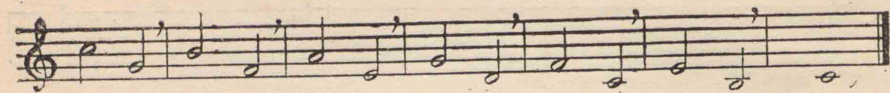
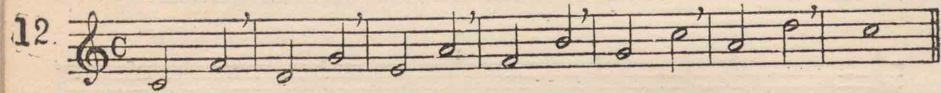
第二度音程

長 長 短 長 長 長 短

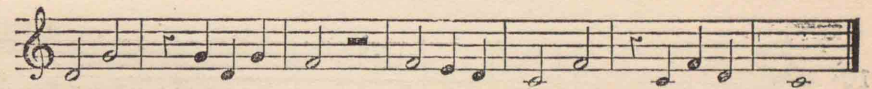
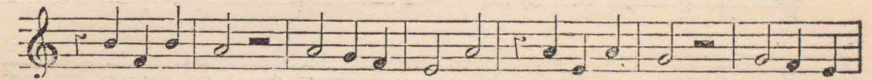
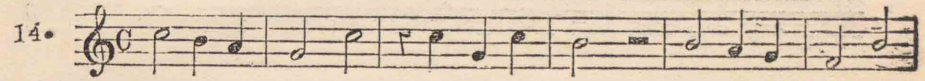


第四度音程

完全 完全 完全 增 完全 完全 完全




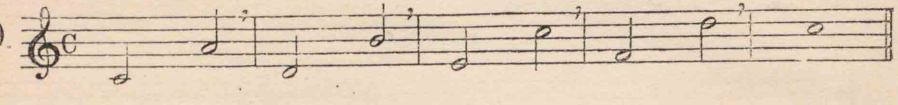
第四度音程つき

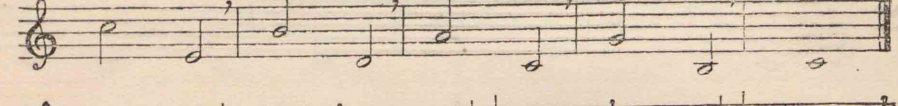


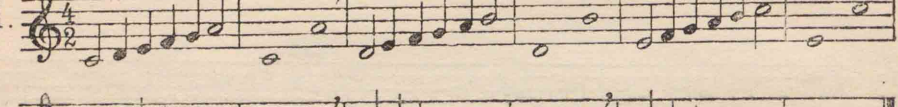
第六度音程

長 長 短 長 長 短 短

20. 

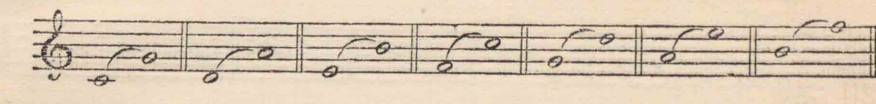
21. 

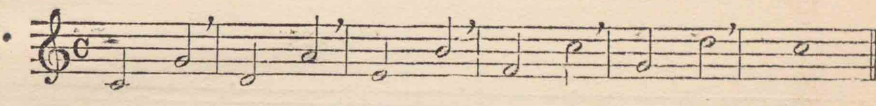
22. 


23. 

第五度音程

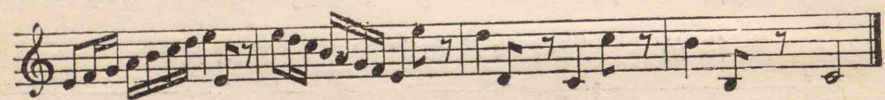
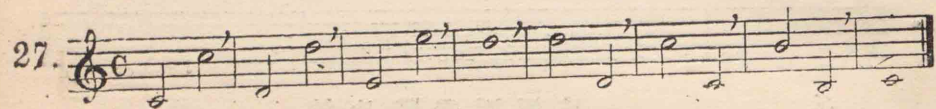
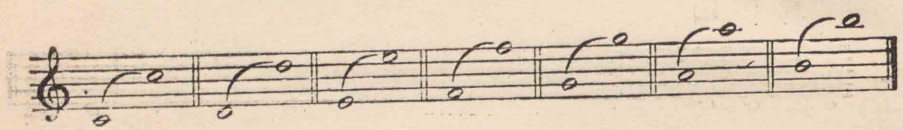
完全 完全 完全 完全 完全 完全 減不完全

17. 

18. 

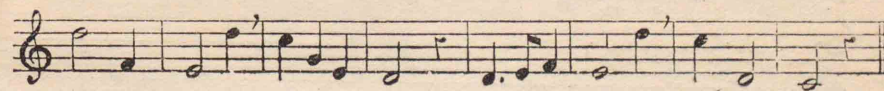
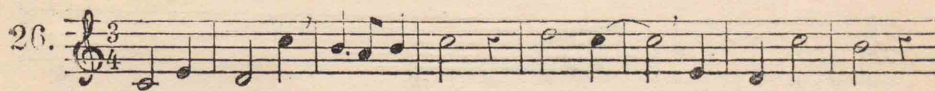
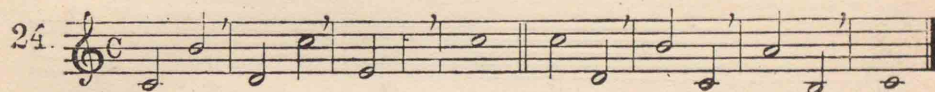
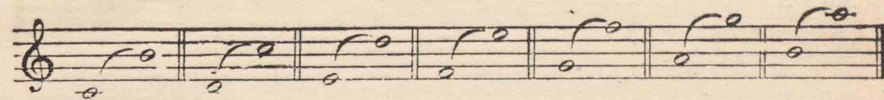
19. 

第八度音程



第七度音程

長 短 短 長 短 短 短





半音階

ハ#ハニ#ニホへ#へト#トイ#イロハハロロイイトトへホホニニハ  
1 ト 2 タ 3 ヤ 4 ヲ 5 ツ 6 ヌ 7 イ 7 ネ 6 モ 5 エ 4 ミ 2 ヘ 1

35.

短音階

旋律的

30.

和聲的

31.

長

長短兩音階比較

32.

短

旋律的 旋律的及和聲的兩短音階比較

33.

和聲的

長

長短兩音階中主要三和音比較

34.

短

明治三十四年五月十一日印  
明治三十四年五月十五日發  
昭和三年三月廿五日廿七版發行



不許  
複製

發行所

東京市芝區松本町四十四番地

會社 共益商社書店

(電話高輪四〇五七 振貯東一五八〇)

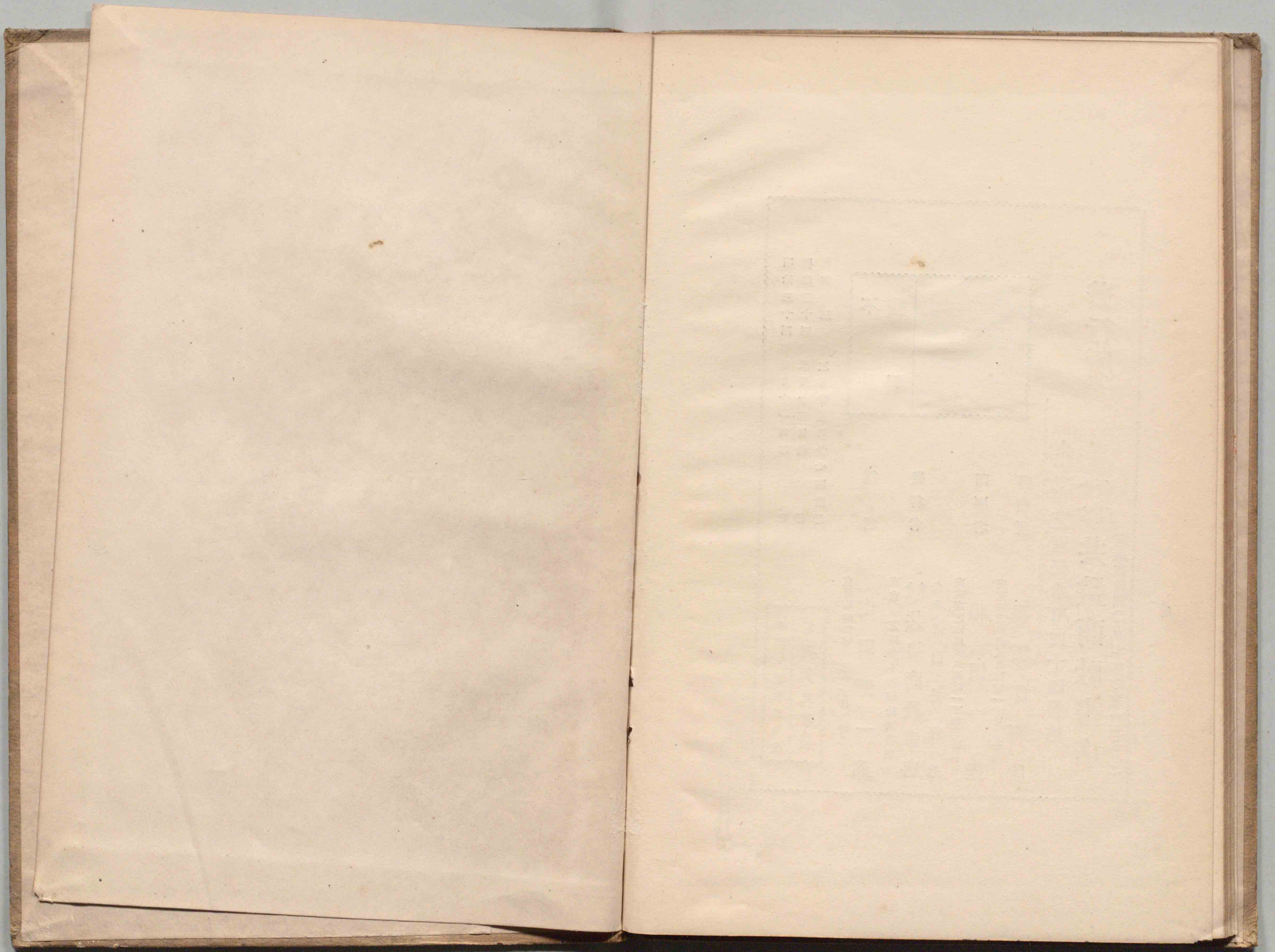
女學唱歌卷二奧附  
定價金九拾錢

東京市神田區錦町三丁目拾壹番地  
山田源一郎

東京市芝區松本町四拾四番地  
會社 共益商社書店  
代表者 白井保男

東京市芝區南佐久間町一丁目三番地  
和田操

印刷者 和田印刷所  
印刷所 和田印刷所





広島大学図書

0130449429

